HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	観光を基軸とした地域のソーシャル・イノベーション
Author(s)	池ノ上, 真一
Relation	北海道大学観光学高等研究センター共同研究会「観光創造研究会」設立準備会, 「観光創造学を考える」研究会録. 2013年11月23日, 24日. 北海道大学遠友学舎.
Citation	「観光創造学を考える」研究会録 / 北海道大学観光学高等研究センター共同研究会「観光創造研究会」設立準備会, 75-81
Issue Date	2014-07-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/56566
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	conference paper
File Information	06_2ikenoue.pdf, 資料

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

観光を基軸とした地域のソーシャル・イノベーション

20131123　池ノ上　真一

1. 現在の研究領域やプロジェクトに関する概略

(1) 研究領域：観光地域づくり（地域研究、地域計画）

→地域が抱える矛盾の明確化

→地域課題の解決としての地域づくり

(2) 「第2のふるさとづくり」をとおしたライフスタイルの変革に関する研究

① 地域のライフスタイル・生活スタイルの再評価と交流機会の創出

→竹富島における「おすそわけ」としての観光

→交流人口の創出、地域ファンの創出のための戦略策定

② 観光を基軸とした新たな地域の生活スタイルづくり

→モニターツアーをとおした地域の「受け皿」づくり

（気仙沼市内湾地区、釜石等）

(3) 「海の道」をとおした境界地域の可能性に関する研究

① みなとまち＋後背地（おもに気仙沼市内湾地区、留萌、小樽、釜石、他）

② 島（礼文島、竹富島、他）

③ 津軽海峡文化圏、対馬海流圏

④ 海のシルクロード（UNWTO）

(4) 地域課題解決に貢献する人材育成に関する研究

① 観光庁、文科省等との連携

② 地域社会および関連団体の活動への貢献

→（公財）日本ナショナルトラスト、北海道遺産協議会、竹富島、気仙沼市風待ち復興検討会、等

2. 観光創造学に対する考え、あるいは自らの貢献の可能性、スタンス

(1) 地域における課題の共有をとおした実証的研究

① 地域の矛盾解消のための実践

② 実践促進のための学術的貢献

(2) ソーシャル・イノベーションの意義と観光創造への期待

① 地域矛盾の解消のために地域社会はいかに対応するか

② ソーシャル・イノベーションに貢献する観光

③　イノベーション（新結合）する構成要素（仕事、遊び＝地域の生活を構成する要素）と観光をきっかけに獲得する新たな考え方や方法

3. 観光を基軸とした地域のソーシャル・イノベーション

(1) 前提となる考え方や背景

①　観光を基軸とした地域課題解決の実現過程が対象

②　観光地としての成功ではなく、地域生活の持続が目的

③　地域力（地域資本）の再生、あるいは発展のための観光

④　交流、交換、交易の機会として観光を捉える

(2) 実践、研究の目標

①　「観光地域づくり」のモデル化（ソーシャル・イノベーションの考え方と方法）

②　地域力（地域資本）の評価と発展のための方法論の開発

③　「海の道」に関連して形成した地域特性の明確化と観光活用モデルの構築

(3) 今後の議論のために

①　地域をいかに捉えるか：地域課題の解決のために

→地域力（地域資本：文化、社会、経済）の構成要素と構造について

→地域課題の解決と地域力との関係について

②　ホスト側のツーリズム・インパクトの捉え方と活用について

→直接的効果、間接的効果について

→地域力の特性との関係について

→地域における体制、人材、役割分担等について

→新たな考え方や方法の獲得あるいは融合の方法について

→ソーシャル・イノベーションの実現について

③　ゲスト側にとっての地域について

→ゲストのライフスタイルにおける地域の役割

→観光形態の趨勢等について

④　地域のソーシャル・イノベーションのための観光戦略について

→地域力の発展を目的とした構成要素の活用について

→地域がめざす観光形態と移行方法について

→公共と民間との役割分担について